

## インフルエンザ 流行警報

市内における第46週(11/10~11/16)のインフルエンザ定点あたり報告数が44.33となり、警報レベル（基準値30）を上回りました。昨シーズンより5週早く警報基準を上回っており、流行の早期拡大が認められます。

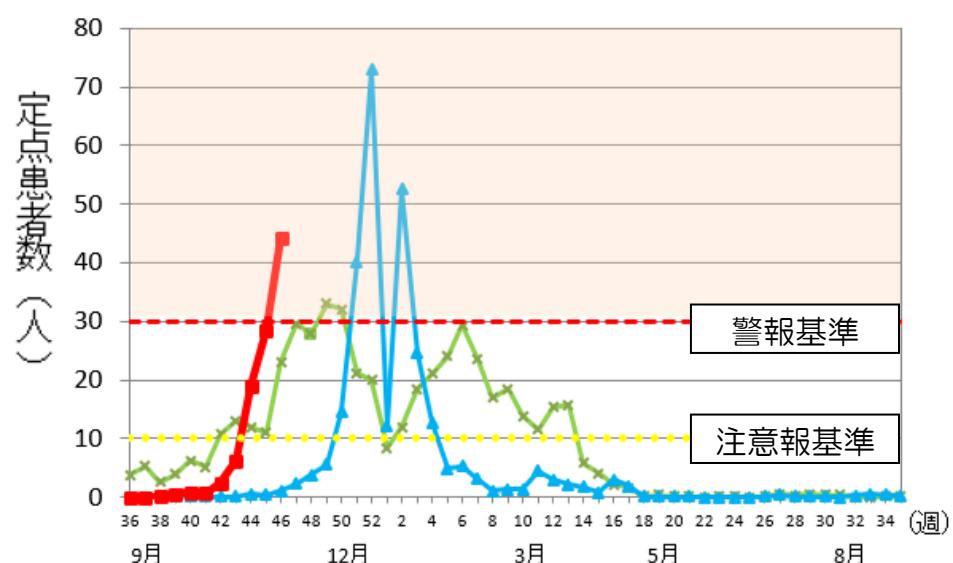
第44週以降は15歳未満の患者が多く報告されていますが、成人層にも広がっており、一定数の報告があります。さらに入院サーベイランスでは、小児と高齢者において患者の増加が見られます。

学校サーベイランスにおいては、第46週から未就学児の報告が増加し、第47週に入っても多数の学級閉鎖や園児の欠席が確認されており、今後さらなる感染拡大が懸念されます。

ウイルスサーベイランスでは、AH3亜型が多く検出されていますが、B型（ビクトリア系統）も複数確認されています。

つきましては、引き続きサーベイランス動向の把握に努めていただくとともに、診療体制の整備及び院内感染対策の徹底をお願いいたします。

■インフルエンザ定点当たり報告数  
(過去3年)



■インフルエンザ発生状況（週別報告数比較表）

週数		定点当患者数	報告総数	学校サーベイ (施設数)					ウイルスサーベイ		入院サーベイ
				幼稚園 こども園	小学校	中学校	高校	計	AH3 亜型	B型 ビクトリア 系統	
44週	10/27 ~11/2	18.83	226		5	-	-	5	4	-	2
45週	11/3 ~9	28.58	343		11	1	3	15	6	-	6
46週	11/10 ~16	44.33	532	4	20	8	1	33	4	3	9
47週	11/17 ~23			3	13	6	1	23			

学校サーベイは11/19現在の速報値